

氏名 坂井 雄介 (SAKAI Yuusuke)

所属 ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科

職種 教授

生年月日 1968年3月13日

[履 歴]

[学 歴]

1990年3月 東京農工大学工学部数理情報工学科卒業

1992年3月 東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻修了

1994年3月 東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻中途退学

[学 位]

工学修士

[職 歴]

1994年4月 青森大学工学部 助手

2002年4月 青森大学工学部 講師

2004年4月 ソフトウェア情報学部 講師

2009年4月 ソフトウェア情報学部 准教授

2019年4月 ソフトウェア情報学部 教授

[受 賞]

[所属学会]

情報処理学会

[教育活動]

[担当科目]

「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、

「開発ワークショップ」、「創作ゼミナール」、「卒業研究」、

「キャリア特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」

[卒業研究指導]

2020年度卒業研究：6名

2021年度卒業研究：4名

2022年度卒業研究：9名

2023年度卒業研究：4名

2024年度卒業研究：4名

[ゼミ指導]

2018年度創作ゼミナール：2名

2019 年度創作ゼミナール：6 名
2020 年度創作ゼミナール：5 名
2021 年度創作ゼミナール：10 名
2022 年度創作ゼミナール：5 名
2023 年度創作ゼミナール：4 名

[教育指導に関する特記事項]

- 基礎スタンダード科目群「キャリア特別実習 I～IV」において、学内外の活動に取り組む学生同士が相互に刺激し合い、創発し、学内の他学生とつながる場を作り、本学の基本方針である「地域とともに生きる大学」と「学生中心の大学」の推進につなげる工夫を取り入れている。

[研究活動]

[研究テーマ]

(1) IoT システム、(2) 人工知能技術の応用

[著書、論文、総説]

- 「エコマネーWeb プラットフォームのドメインモデルの設計」, 小久保温・柏谷至・石橋修・櫛引素夫・坂井雄介・佐々木てる・田中志子, 青森大学附属総合研究所紀要 Vol117(1), pp. 23-31, 2016
- 「郊外型住宅団地の課題と電子エコマネーの可能性 -青森市・幸畑団地の事例-」, 石橋修・柏谷至・佐々木てる・田中志子・小久保温・坂井雄介, 八戸学院大学紀要 Vol. 51, pp. 1-11, 2015
- T.Horibata, Y.Sakai and O.Yamamoto, Efficient Cost Functions for Solving the 8-puzzle with the A* Algorithm based on the Statistics of Distribution of Tiles, Information Vol.10 (2007) 123-130.

[学会発表]

[その他の活動]

(研究費の獲得状況)

- 青森大学教育研究プロジェクト「学生の主体性に合わせた地域貢献・学内活動の構築・支援、および学修活動との連携に関する研究」(研究分担者, 研究代表者: 櫛引素夫), 2017

[公開講座、講演、セミナー]

- 青森山田高校「特別授業」2023年9月13日
- 青森山田高校「特別授業」2023年4月25日
- 青森山田高校「特別授業」2023年2月21日
- 青森山田高校「特別授業」2022年9月14日,9月21日
- 五所川原高校「コンピュータのしくみ」2021年12月10日
- 青森山田高校「特別授業」2021年9月15日,11月16日
- 青森山田高校「特別授業」2020年8月25日,9月1日

[学内各種委員]

1. 教務委員（2016年度～2019年度、2021年度～）
 2. 3キャンパス・カリキュラム編成準備委員会（2021年度～）
 3. 学修支援センター 運営委員・センター員（2013年度9月～）
 4. 質保証委員会（2020年度～）
 5. 自己点検評価・認証評価審査対策委員（2015年度～）
 6. FD・SD委員（2021年度～）
 7. 学生募集タスクフォース（2020年度～2021年度）
- 主に教務委員として、全学としての卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針、及び学修成果の評価に関する方針の整備や具体化に携わっている。また、学修成果の評価を目的とした学修ルーブリック開発や外部試験の導入に関わっている。
 - 主に教務委員の活動として、各キャンパスで教育課程が適切に実施していけるよう、教育課程編成の工夫や科目開講調整などに取り組んでいる。
 - 2020年度からは、主に質保証委員会、自己点検評価・認証評価審査対策委員会及びIR推進センターの活動として、本学の内部質保証に取り組んでいる。